



さちが丘小学校 学校だより

2月号

令和3年1月29日

横浜市立さちが丘小学校

校長 中澤 道則

TEL:361-0777 FAX:361-0787

若竹

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

緊急事態宣言の「中」で…

学校長 中澤 道則

1月6日。冬休み明けの朝会で「シラスリボン・プロジェクト」の話をしました。愛媛県から広がったこの活動。新型コロナウイルス感染症が拡大する、そんな世の中であっても、いつでも明るく挨拶をかわせる社会であって欲しいという願いを込めた活動です。そうすることで感染した方、そのご家族、医療関係に従事する皆さんへの差別、偏見から生まれる弊害も防ごうというこの活動。リボンの3つの輪は家庭・地域・職場(学校)を表しています。(私も早速、作ってみました)



そしてその翌日、1月7日。新型コロナウイルス感染症拡大に歯止めがかからないことから、1都3県を対象に緊急事態宣言が再発令(1月8日から2月7日まで)されました。学校でも感染拡大防止対策を再度、徹底しつつ教育活動を進めています。左の写真は1年生の道徳の授業の様子です。10か月前は「新入生」だった子ども達も、今はすっかり「1年生」です。2か月後に入学してくる「後輩」達に会えることを心待ちにして、「お姉さん、お兄さん」になる準備をしています。2年生から6年生

の子ども達も本当に毎日、明るく直向きに学校生活を送ってくれています。こんな先行きが見えない中、不安もあるでしょう。様々な制約がある中で、満足足りない思いも持っていることでしょう。そんな中でも、いつも穏やかな笑顔を絶やさず学校生活を送る子ども達の姿を見るたびに、本当に温かな気持ちになります。教職員一同、今後も、長引く「自粛生活」にも気を緩めることなく、感染拡大防止対策に努めることで、この子ども達の笑顔を守っていきたく改めて思いました。

ハワイには“*No rain No rainbow*”という古いことわざがあります。「雨が降らなければ虹は出ない」という意味です。一見すると私たちには「なす術無し」とも思える今の状況ではあります。しかし「政府任せ」ではなく、また「自治体任せ」ではなく、私たちにも雨をやませるためにできることがあるのではないのでしょうか。今、できる小さなことを私たちが一つひとつ、積み上げていくこと。それが「シラスリボン」のように温かな社会を生み出すと共に、最前線で働く医療従事者の皆さんへの感謝の気持ちを表すことにもつながるのだと思います。

私たちは今、緊急事態宣言の「下」ではなく、当事者として「真っ只中」にいるのです。今月も教職員一同「子ども達の健康・安全と学びを守る」ことを第1に考えつつ教育活動を進めていきたいと思ひます。保護者、地域の皆様、今月も宜しくご理解、ご支援のほど、お願いいたします。